

# 1 日野橋のこれまでの経過

- (1) 日野橋の履歴について
- (2) 県内の有形文化財（橋りょう）と活用状況
- (3) 国内のトラス橋の中での日野橋の位置付け
- (4) 日野橋周辺の文化財について

## (1) 日野橋の履歴について

### ① 年表

年号(西暦)	橋梁	文化的内容	市民の声
明治21年(1888年)	日野川に初めて木造橋が架設		
大正12年(1923年)	木造橋が洪水により流失		
昭和4年(1929年)	架設・供用開始		
昭和38年(1963年)	塗装補修工事(建設省)		
昭和42年(1967年)	国道9号 新日野橋架設(建設省)		
昭和44年(1969年)	塗装補修工事(建設省)		
昭和45年(1970年)	建設省から米子市へ権利譲渡		
昭和47年(1972年)	通行対象物を1t未満に荷重を制限	豪雨により橋脚が洗掘され耐力が低下	
昭和60年(1985年)	橋面舗装及び塗装補修工事		
昭和61年(1986年)	乗用車1t未満に荷重を制限	交通量の増加と車両の大型化により、老朽化が加速	
平成6年(1994年)	現況強度調査実施	老朽化に伴う耐力低下	
平成7年(1995年)	自動車通行止め(二輪自動車を除く)		・不便、大回りになる(ドライバー) ・安心して通れる(学校関係者) ※新聞掲載
平成8年(1996年)		文化財登録制度の導入	
平成9年(1997年)	橋脚補強工事		
平成10年(1998年)		鳥取県の近代化遺産報告書作成	
平成12年(2000年)	鳥取県西部地震により被災、通行止め		地区住民の存続への要望が強い ※新聞掲載
平成14年(2002年)	地震被害の調査実施(国交省)	国登録有形文化財の登録手続き	米子市の顔、文化的な価値からも残してほしい ※新聞掲載
平成15~18年	補強・補修工事	上部工(トラス部補強、塗装塗替え)	国登録有形文化財の登録
		下部工(橋台2基、橋脚5基)	
		落橋防止装置、橋面舗装	
平成19年(2007年)	工事完了により開通(自動車を除く)		
平成22年(2010年)	国道9号 新日野橋歩道拡幅(国交省)		
平成28年(2016年)	定期点検実施	健全度Ⅲ(早期措置段階)	日野橋の長寿を祝う会開催
令和3年(2021年)	定期点検実施	健全度Ⅲ(早期措置段階)	

## ②日野橋の文化財的価値

### 【歴史】

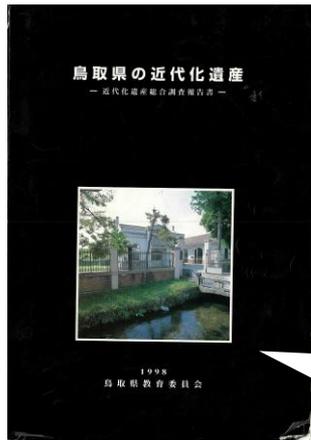
- 旧橋梁が大正12年に洪水で流失
- 昭和4年5月に竣工し、道路橋・トラス橋として県内最大・最古

### 【特徴】

- 曲弦式6連ワーレントラス橋
- 橋両端には、花崗岩切石積の親柱を4基配置
- 各主構端に半円アーチを刳り抜いた曲線型の橋門構を設けるのが特徴

### 【国登録有形文化財登録基準】

- 国土の歴史的景観に寄与しているもの



鳥取県内の近代化遺産（建造物）の保護と活用を目的として、H8,9年の鳥取県近代化遺産総合調査に基づき、近代化遺産の文化的価値と歴史的意義について記載

## ③日野橋の長寿を祝う会について

### 【目的】

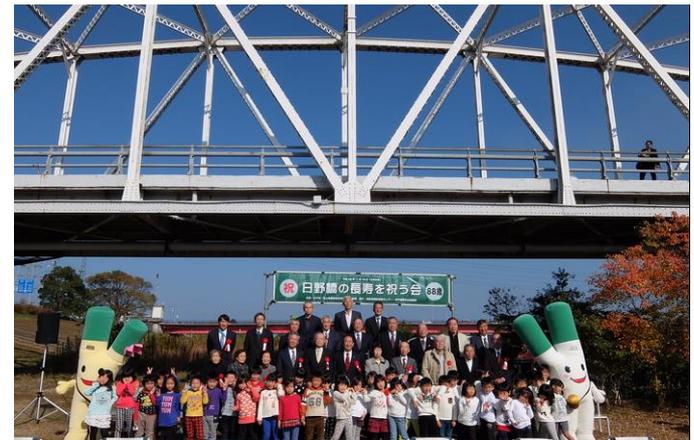
- 米寿（数え年88歳）を機に、地元で親しまれ長く使われた日野橋への感謝とともに今後も後生に受け継がれるよう祝う会を行う。（八十八は米子の地名の起源にもなっている）

### 【内容】

- 日時：平成28年11月18日（金）10時～
- 場所：鳥取県米子市車尾地内

### 【参加者】

- 米子市長、倉吉河川国道事務所長、日野川河川事務所長、市内保育園園児（車尾、巖）、地元関係者



## (2) 県内の有形文化財(橋りょう)と活用状況

### ■国登録有形文化財

<道路橋>

①



橋梁名	三朝橋(東伯郡三朝町)
諸元	竣工：S9 形式：RC造7連桁橋 橋長：69m
活用状況	道路橋として現役

<鉄道橋>

③



橋梁名	若桜鉄道第一八東川橋梁(八頭郡八頭町)
諸元	竣工：S4 形式：鋼製8連桁橋 橋長：139m
活用状況	鉄道橋として現役

⑤



橋梁名	若桜鉄道第三八東川橋梁(八頭郡八頭町)
諸元	竣工：S5 形式：鋼製7連桁橋 橋長：110m
活用状況	鉄道橋として現役

⑦



橋梁名	若桜鉄道岩淵川橋梁(八頭郡八頭町)
諸元	竣工：明治中期(S5改造移築) 形式：鋼製2連桁橋 橋長：19m
活用状況	鉄道橋として現役

②



橋梁名	若桜橋(八頭郡若桜町)
諸元	竣工：S9 形式：RC造3連アーチ橋 橋長：83m
活用状況	道路橋として現役

④



橋梁名	若桜鉄道第二八東川橋梁(八頭郡八頭町)
諸元	竣工：S5 形式：鋼製10連桁橋 橋長：128m
活用状況	鉄道橋として現役

⑥



橋梁名	若桜鉄道若桜川橋梁(八頭郡若桜町)
諸元	竣工：大正初期(S5改造移築) 形式：鋼製単桁橋 橋長：9.1m
活用状況	鉄道橋として現役

⑧



橋梁名	若桜鉄道細見川橋梁(八頭郡八頭町)
諸元	竣工：明治中期(S5改造移築) 形式：鍊鉄製3連桁橋 橋長：39m
活用状況	鉄道橋として現役

### ■米子市指定有形文化財

<水管橋>

⑨

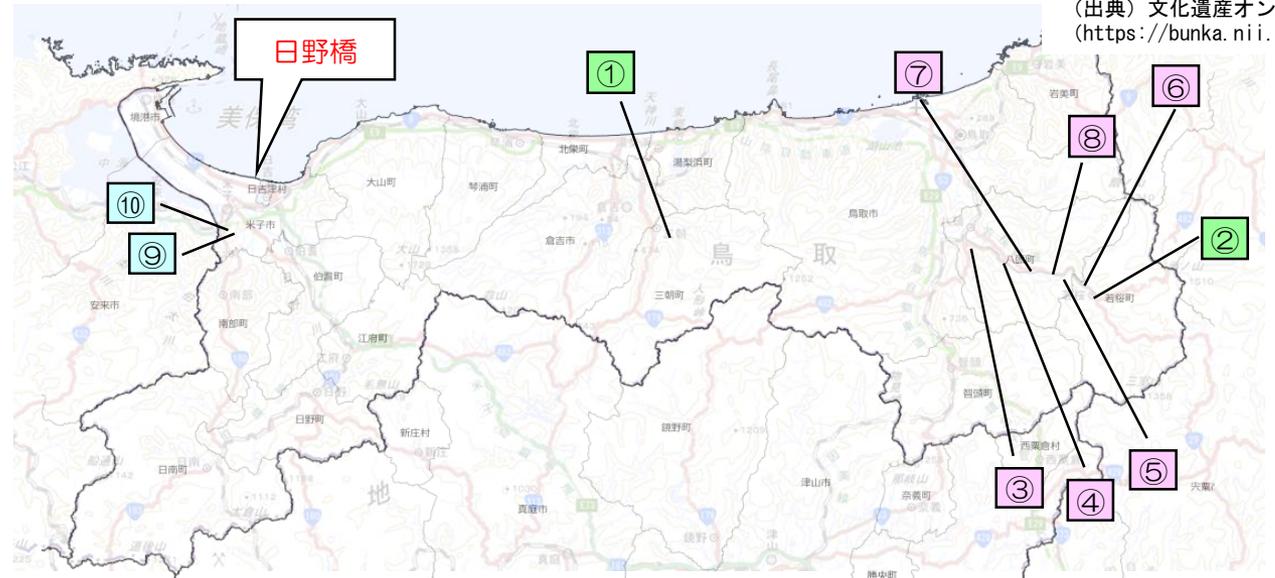


橋梁名	糺町橋水管橋(米子市)
諸元	竣工：不明 形式：鋼桁橋 橋長：8.3m
活用状況	道路橋として現役

⑩



橋梁名	加茂川橋水管橋(米子市)
諸元	竣工：不明 形式：鋼桁橋 橋長：9.4m
活用状況	道路橋として現役



(出典) 文化遺産オンライン  
(<https://bunka.nii.ac.jp/>)

## (3) 国内のトラス橋の中での日野橋の位置付け

- トラス橋は国内道路橋の内約5%を占める (出典:日本橋梁建設協会HP)
- 日野橋は同条件の橋梁の中で特に古い部類ではないが、規模は比較的大きい。

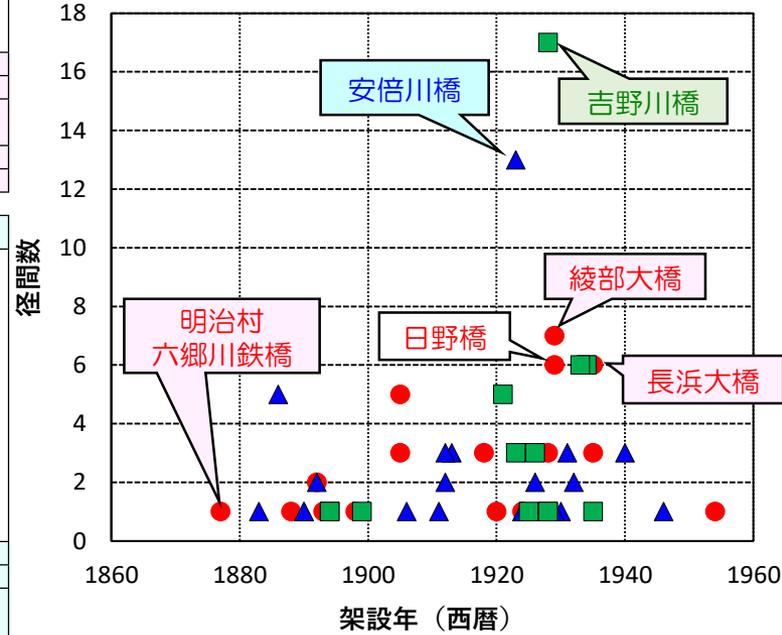
橋梁名	綾部大橋 (国登録有形文化財)
	
所在地	京都府綾部市
竣工年	昭和4年 (1929年)
諸元	形式: 鋼製7連曲弦ワーレントラス橋 径間数: 7径間 橋長: 210m 幅員: 5.2m
特徴	木造の旧橋の形式が踏襲されている
活用状況	道路橋として現役

橋梁名	長浜大橋 (国指定重要文化財)
	
所在地	愛媛県大洲市
竣工年	昭和10年 (1935年)
諸元	形式: 鋼製5連ワーレントラス橋+跳開橋 径間数: 6径間 橋長: 232.3m 幅員: 6.6m
特徴	現存最古の道路可動橋で、現在も機能を保持
活用状況	道路橋として現役

橋梁名	明治村六郷川鉄橋 (国登録有形文化財)
	
所在地	愛知県犬山市
竣工年	明治10年 (1877年)
諸元	形式: 単純ワーレントラス橋 径間数: 1径間 橋長: 約30m 幅員: 7.5m
特徴	現存する2番目に古い鉄道用トラス 当初6連あった橋梁の1連を移設
活用状況	移設され歩道橋として利用。

橋梁名	安倍川橋 (国登録有形文化財)
	
所在地	静岡県静岡市
竣工年	大正12年 (1923年)
諸元	形式: 鋼製12連ボーストリングトラス橋 + 鋼製単純ローゼ橋 径間数: 7径間 橋長: 491m 幅員: 7.3m
特徴	輸入鋼材を使用したことが分かる橋梁
活用状況	道路橋として現役

橋梁名	吉野川橋 (土木学会選奨土木遺産)
	
所在地	徳島県徳島市
竣工年	昭和3年 (1928年)
諸元	形式: 単純曲弦鋼ワーレントラス橋 径間数: 17径間 橋長: 1071m 幅員: 6.1m
特徴	道路のトラス橋としては戦前最長
活用状況	道路橋として現役



- : ワーレントラス橋 (国指定文化財等)
- ▲ : トラス橋 (国指定文化財等)
- : ワーレントラス橋 (土木学会指定選奨土木遺産)

## (4) 日野橋周辺の文化財について



10 梅翁寺



7 朝比奈三郎、曾我五郎の草摺りを曳く図



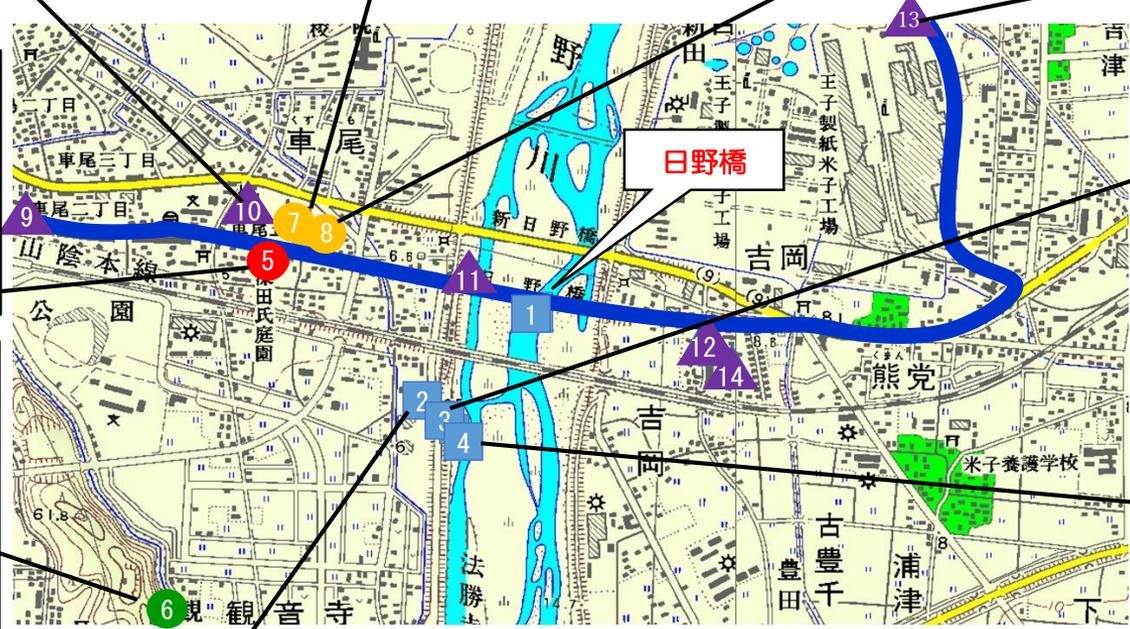
8 貴布禰神社石造唐獅子



13 金毘羅大権現常夜燈



5 深田氏庭園



3 旧米子市水源地記念碑



6 木造 十一面観音坐像



2 旧米子市水源地旧ポンプ室



4 旧米子市水源地水神社

- 国登録有形文化財
- 国指定名勝
- 県指定保護文化財
- 市指定有形文化財
- ▲ 未指定文化財 (主なもの)

- ▲ 9 車尾の道標
- ▲ 11 日野橋木橋の親柱
- ▲ 12 一石三十三体仏
- ▲ 14 サイノカミ (吉岡)

【出典】  
 ・ 指定文化財/米子市HP  
 ・ 日吉津村HP  
 ・ 曹洞禅ナビ (寺院検索)

## 2 日野橋の今後の検討事項

令和7～8年大規模修繕後の  
日野橋の在り方について

(1) 機能を維持する場合

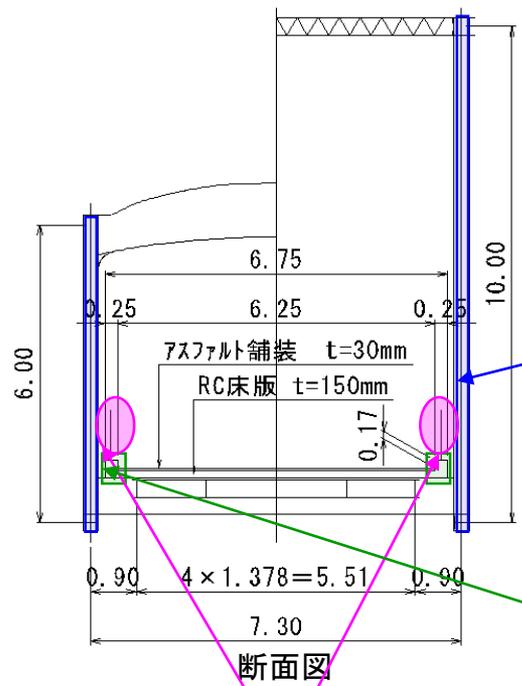
- ① 損傷状況の把握と修繕内容
- ② 修繕工法の検討
- ③ 修繕計画およびライフサイクルコスト

(2) 集約化・撤去する場合

- ① 撤去工法の検討および工事費の算出
- ② 国登録有形文化財の登録抹消について
- ③ 移設・再活用事例など

## (1) 機能を維持する場合

### ① 損傷状況の把握と修繕内容



### ① トラス部材 (全般)

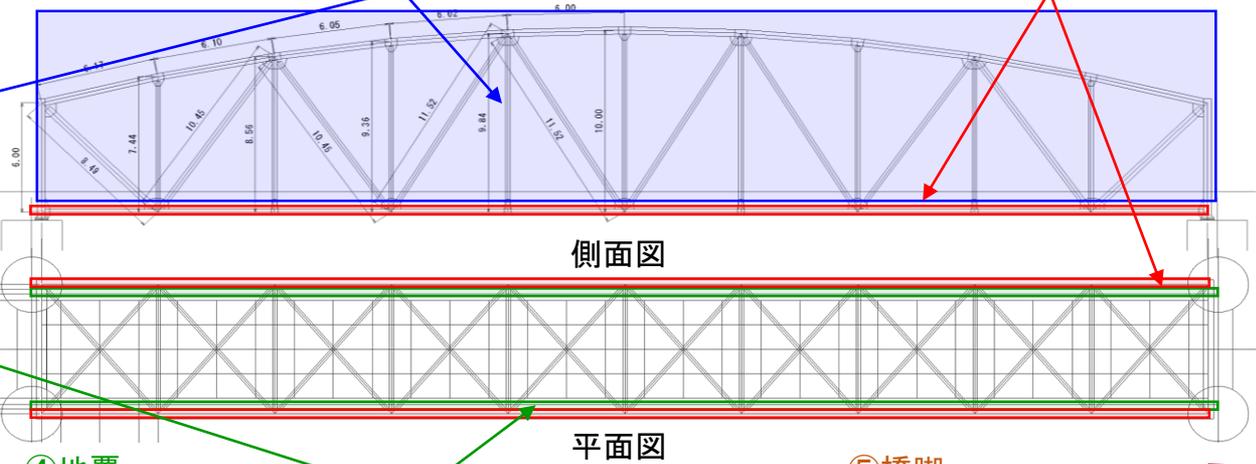


損傷状況：孔食、減肉を伴う腐食、防食機能の劣化  
 修繕工法：塗装塗り替え、当て板、部材取替

### ② トラス部材 (下弦材)



損傷状況：腐食、防食機能の劣化  
 修繕工法：FRPシート補強



### ③ 防護柵



損傷状況：ひびわれ、うき、鉄筋露出  
 修繕工法：ひびわれ補修、断面修復

### ④ 地覆



損傷状況：ひびわれ、うき、鉄筋露出  
 修繕工法：ひびわれ補修、断面修復

### ⑤ 橋脚



橋脚基礎部の洗堀調査

## ② 修繕工法の検討

### 【方針】

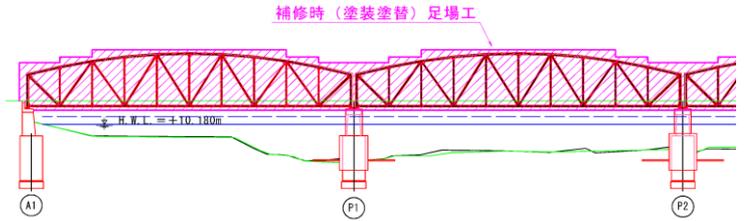
定期点検（5年に1回）、現地調査、関係機関協議を踏まえ、修繕工法の選定、仮設計画を行う

### 【塗装塗替え】

塗装塗膜の剥ぎ取り工法について、各種工法検討が必要

### 【足場設置】

飛散防止を考慮した足場の設置



## ③ 修繕計画およびライフサイクルコスト

### 【修繕計画】

- ・修繕工事（現在）から、一般的な橋梁の耐久年数として100年後を想定
- ・令和7～8年の修繕工事費を初期コストとして設定

### 【ライフサイクルコストの算出】

- ・5年に1回の定期点検を考慮
- ・鋼橋のライフサイクルコストより、塗り替え周期は、20年を想定

初期仕様	A-1	B-1	C-1	C-2 (全工場塗装)	C-4 (全工場塗装)	I:薄膜形重防食	
塗替え仕様	a-1	b-1	c-1	c-1	c-3	c-1	
塗装名称	長油性フタル酸樹脂塗装	塩化ゴム系塗装	ポリウレタン樹脂塗装	ポリウレタン樹脂塗装	ふっ素樹脂塗装	全工場塗装 ポリウレタン樹脂塗装	
環境	一般環境 (山間部)	15年	20年	40年	40年	60年	30年
	やや厳しい環境 (市街地部部)	10年	15年	30年	30年	45年	20年
	厳しい環境 (海岸部)	—	10年	20年	20年	30年	—

出典：鋼橋のライフサイクルコスト（一社）日本橋梁建設協会

## (2) 集約化・撤去する場合

### ① 撤去工法の検討

#### 【方針】

現地調査、関係機関協議を踏まえ、撤去工法の選定、仮設計画を行う

#### 【上部工】仮設桁による撤去工法

- ・橋下の利用に制約がかかるため、仮設桁による工法が想定される
- ・架設桁上に積載したトラベラクレーンにより、分割撤去を行う

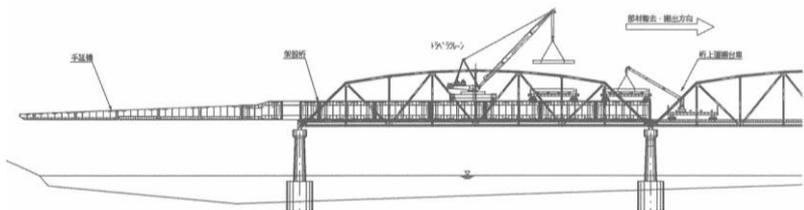


図. 上部工撤去工法の検討



歩行者・二輪車動線の確認 (撤去後)

#### 【橋台・橋脚・基礎】破碎、ブロック解体による撤去

- ・破碎、ブロック解体が想定される
- ・最深河床-2.0mより上の構造物は撤去、深い部分は残置

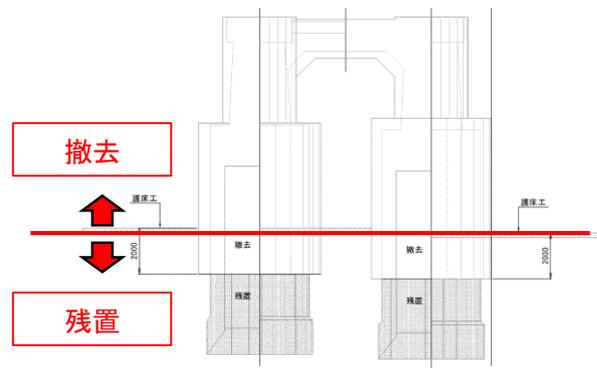


図. 橋脚・基礎撤去工法の検討

### ② 国登録有形文化財の登録抹消について

#### 文化財登録抹消の手続きについて

##### ・登録有形文化財建造物の抹消とは

登録有形文化財建造物が「重要文化財に指定された場合」、「地方公共団体が条例に基づき区域内に存する重要なものとして指定された場合」、「その保存及び活用のための措置を講じる必要がなくなったと認める場合」、「その他特殊の事情があると認める場合」には、その登録を抹消します(法第59条)。

「重要文化財に指定された場合」、「地方公共団体が条例に基づき区域内に存する重要なものとして指定された場合」は、各都道府県の報告に基づき、登録の抹消手続を進めます。

「その保存及び活用のための措置を講じる必要がなくなったと認める場合」、「その他特殊の事情があると認める場合」により別途、滅失届、現状変更届の提出が必要になる場合があります。

##### ・「その他特殊の事由があると認める場合」とは

登録有形文化財建造物の保護に優先する他の公益や安全の確保のために登録有形文化財としての存続を期し難い事情がある場合です。

- ①文化庁及び米子市文化財保護審議会への事前協議
- ↓
- ②現状変更届の提出 (30日前)
- ↓
- ③解体工事
- ↓
- ④現状変更完了報告の提出
- ↓
- ⑤文化審議会への諮問答申
- ↓
- ⑥登録証の返納

出典：登録有形文化財（建造物）の手引

## ③ 移設・再活用事例

旧余部橋梁（兵庫県）  
土木学会選奨土木遺産

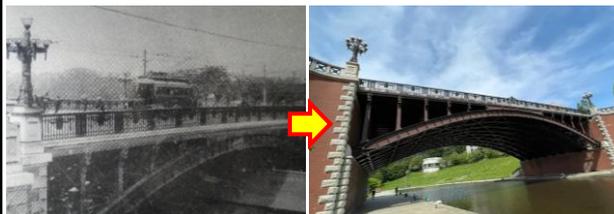
鋼橋からコンクリート橋に架け替えられたが、旧橋の一部を利用して展望施設を併設し、公園施設も整備され、新しい鉄道観光施設となっている。



旧余部橋梁      余部クリスタルタワー  
出典：兵庫県ホームページ

四谷見附橋（東京都）

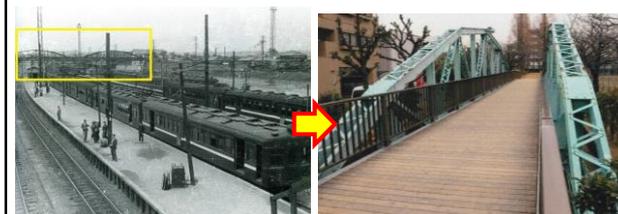
ネオバロック様式の装飾が施された都内最古の陸橋であり、大正2年に完成した。架け替えにともなって一時は解体が予定されたが、平成5年に多摩ニュータウン長池公園に移設された。高欄の一部は新宿歴史博物館に展示されている。



竣工時の四谷見附橋      移設後の長池見附橋  
出典：八王子ジャーニー

旧小久保跨線橋（兵庫県）  
国登録有形文化財（建造物）

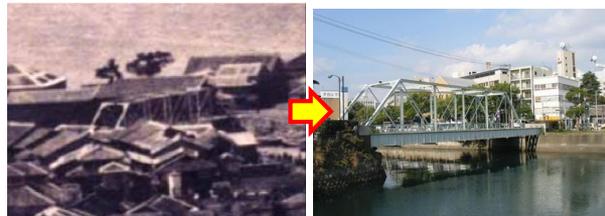
明治20年代に九州鉄道等に数多く導入されたドイツ製鋼製のボーストリングトラス橋であるが、昭和2年に転用され小久保跨線橋となったが役目を終え、現在は上ヶ池公園の遊歩道に移設された。



旧小久保跨線橋      移設後  
出典：文化庁

出島橋（長崎県）  
国登録有形文化財（建造物） 土木学会選奨土木遺産

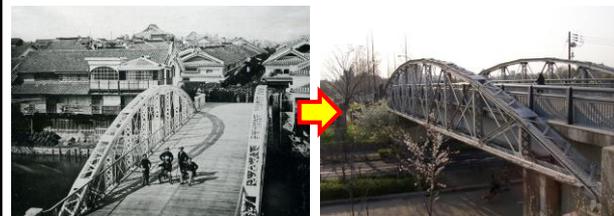
明治23年に架設された新川口橋が解体され、部材を再構成して明治43年に出島橋として現在の場所に移設された。我が国に現存する道路橋として最古の橋である。



架設直後の新川口橋      出島橋  
出典：長崎県の土木遺産

緑地西橋（大阪府）  
土木学会選奨土木遺産

旧心斎橋は、明治6年に架けられた錬鉄製の弓形トラス橋で、架け替えに伴って撤去、移設された。平成2年には緑地西橋（鋼桁橋）の両側に独立した主構だけを渡して展示目的で利用されている。



旧心斎橋      緑地西橋  
出典：歴史的鋼橋検索

### 3 次回の検討委員会に向けて

- (1) 市民意見の聴取について
- (2) 今後のスケジュール（仮）

## (1) 市民意見の聴取について

### 市民アンケートの概要・項目（案）の確認

#### 【目的】

- 日野橋の在り方に関して、市民意見を聴取するために、アンケート調査を実施する

#### 【検討条件】

- 広く市民の意見を収集可能な手法であること。
  - ・米子市人口（R6. 5. 31現在）：144, 352人
  - ・必要サンプル数：300サンプル程度（信頼度90%、許容誤差5%）

#### 【アンケート項目】

- 回答者属性
  - ・年代、性別、職業、居住地（町丁目）
- 日野橋との関わり
  - ・日野橋の認知
  - ・日野橋の利用頻度
- 日野橋の在り方に関する意向
  - ・在り方への賛否
  - ・賛否の理由
- 自由意見

## (2) 今後のスケジュール（仮）

### 今後の在り方検討委員会の内容

- 第3回 修繕・撤去の工法と概算工事費を算出  
市民意見聴取の方法について  
地元説明会について
- 第4回 市民意見聴取及び地元説明会の報告
- 第5回 まとめ